

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和元（2019）年度

施設名	栃木県みかも山公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	みかも山公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号 9060005007605） ・栃木県公園事業協同組合（法人番号 5060005007682）
指定期間	平成31（2019）年4月1日～令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	栃木市岩舟町下津原1747-1
施設の概要	① 指定管理者による管理面積 165.9ha ② 主要な施設 ハング・パラグライダー場、フラワートレイン、わんぱく広場、冒険砦、富士見台、みかもハーブ園、万葉庭園、三毳庭園、湿生植物園、カタクリの園、アズマイチゲの園、香染亭、緑の相談所 等
業務内容	① 公園の維持管理に関する業務 ② 有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③ 公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和元（2019）年度

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	122,000	指定管理 ※2	事業費	8,678
	利用料金収入	20,124		管理運営費	82,475
	その他収入※1	826		人件費	49,340
	合計	142,950		その他支出※1	8,418
			合計	148,911	
指定管理業務収支差額①			▲5,961		
自主事業			18,525		
自主事業収支差額②			866		
収支差額（①+②）			▲5,095		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
・負担金 825千円			・租税公課費 8,418千円		
・利息 1千円					

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

平成30（2018）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	115,714	指定管理 ※2	事業費	9,283
	利用料金収入	23,472		管理運営費	73,057
	その他収入※1	1,616		人件費	50,925
	合計	140,802		その他支出※1	7,750
			合計	141,015	
指定管理業務収支差額①			▲213		
自主事業			18,868		
自主事業収支差額②			▲1,272		
収支差額（①+②）			▲1,485		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
・負担金 1,015千円			・租税公課費 7,750千円		
・利息 1千円					
・雑収入 600千円					

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
公園利用者	767,008人	784,151人

施設名 (利用料金施設)	平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
ハング・パラグライダー	25人	19人
モノラック	114人	73人
フラワートレイン	58,623人	47,963人
合計	58,762人	48,055人

施設名		平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
緑の相談所	相談件数	58回	40回
	催し物回数 (延べ人数)	38回 (26,228人)	36回 (21,561人)
	講習会回数 (延べ人数)	36回 (482人)	32回 (421人)
香楽亭	講習会回数 (延べ人数)	34回 (623人)	35回 (844人)

4 サービス向上に向けた取組

<p>(1)基本テーマに基づいた管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物の貴重な生息環境を保護・保全するため、定期的なモニタリングを実施し、確認できた野鳥や草花等は緑の相談所で紹介した。 ・遊具等の安全管理要領に基づき、日常点検や定期点検を行い、修繕を適時実施した。 ・三毳庭園・万葉庭園に植樹された樹木の種類に応じて、樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観の維持に取り組んだ。 ・緑の相談所では、公園の四季折々の自然に親しんでいただけるよう、「みかも山自然観察会」や「きのこ探検」「野鳥観察会」「親子で楽しむ森の工作」などを開催した。 ・香楽亭では「ラベンダークラフト」や「身近なハーブ料理」「ポピンレース展」など、参加者が興味のある新しい内容の体験講座や展示会を開催した。 ・三毳山が万葉集で詠われていることから、三毳山を題材にした短歌を募集し、優れた作品の表彰と応募作品の展示会・短歌講座を開催した。 ・山野草の群生地や眺望スポットなどを巡るハイキングマップを作成し、東京近郊のアウトドアショップやホームページで紹介した。 <p>(2)利用者満足度を高める管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタクリや早春の花に親しむイベント「早春の花まつり」を開催した。 ・ハーブの活用ワークショップやハーブティー試飲会などを企画し「みかもハーブフェスタ」を開催した。 ・「万葉庭園秋のお茶会」「パラグライダー体験」などを企画し、「とちぎグリーンフェスタ2019」を開催した。 ・香楽亭では横浜薬科大学教授と連携し、薬草園を活用した「暮らしと漢方の関わり」講座を開催した。また、周辺施設と共同でハーブを活用した体験教室を開催した。 ・フラワートレインでは、運転手による車内アナウンスで花の見られる場所や公園イベントなどの情報を提供した。 ・「いちごトレイン」「鯉のぼりトレイン」「ハロウィントレイン」等イベント装飾トレインを運行した。 ・フラワートレインの平日料金値下げ等料金改定を行った。 ・フラワートレインにおいて障害者の利用に際しては無料とした。 ・みかも山公園の魅力が堪能できるように、四季折々に「観察会」や「写真撮影会」を開催した。 ・豊かな自然や歴史を楽しみながら健康づくりができるように、ウォーキングコースを設定、「とちぎ健康づくりロード」に登録し健康づくりに活用した。 ・SNSを開始し、最新の情報が掲載されるよう花情報やイベント情報の発信を行った。ホームページでは講座の申し込みができるようにした。 ・東口広場に親子で楽しめるバッテリーカー広場を設置した。
--

- ・フラワートレインを利用すると香楽亭での買い物が割安になる「トレイン割」サービスを実施した。
- (3) 自然環境を保護・保全する管理運営
- ・自生するカタクリ・ニリンソウ・アズマイチゲ・キツネノカミソリなど山野草の生育環境を保全するため、区域ごとに管理方針を取組んだ。
 - ・環境保全の大切さを伝えるため、「自然観察会」「野鳥写真展」「栃木の昆虫と小さな生き物写真展」などを開催した。
 - ・間伐に伴う植物発生材を施設補修（土留めなど）や改良材として再利用した。
 - ・ラベンダーの無料配布や木の実を試食する講座、きのこ観察を開催し、自然の恵みを感じられる機会を提供した。
- (4) 地域活動拠点として地域とともに生きる公園づくり
- ・みかも山公園・とちぎ花センター・いわふねフルーツパークと連携し、共通パンフレット「みかも山東エリアガイド」を作成した。
 - ・愛パークとちぎ事業・私たちの花壇事業を推進し、地域住民・企業等が継続的に環境美化に取り組めるよう支援した。
 - ・ハーブ園では、草むしりや花植えを行うボランティアを募集し、共に管理に取り組んだ。
 - ・地元、佐野茶華道協会との協働により、万葉庭園でお茶会を開催した。
 - ・「三轟山大文字焼」「万葉柚子収穫祭」「栃木市商工会青年部イベント」などの地域イベントにおいて、会場整備やイベントを共催し運営に協力した。
 - ・栃木県緑の相談所友の会県南支部と共に、展示会や緑の即売会を開催した。
- (5) 効率的・安定性のある管理運営
- ・管理グループの各構成団体の得意分野を活かして、施設管理・緑地管理等の多岐に渡る業務を適切に役割分担することで効率化と安定化を図っている。
 - ・ご意見箱、電話、メール等により利用者の意見を受付けた。
 - ・苦情内容を全従業員に周知徹底させ、原因究明と再発防止に向けて取組んだ。
 - ・公園管理運営士など公園管理運営技術に関する有資格者を配置した。
 - ・災害発生時のマニュアルを作成し、来園者の避難誘導等安全確保に努めた。
 - ・巡回による安全確保と防犯に取り組んだ。
 - ・一括契約、一括購入により経費削減を図った。
 - ・スタッフを対象に作業機械の取り扱い講習、現場でのKY活動研修、普通救命講習、スキルアップ研修等を行った。
- (6) 施設利用提供の実施計画
- ・休園日を設けず年間を通して開園した。併せて管理事務所も開所した。
 - ・春休み期間には施設の休業日を設けず、緑の相談所・フラワートレイン・香楽亭の臨時営業を行った。
 - ・近隣市町、観光施設等と連携した観光情報や花、緑に関するイベント情報を発信した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
・管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収				
回収件数 92件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	41.2%	47.1%	9.4%	2.3%
公園の管理状況はいかがでしたか	39.0%	51.3%	7.3%	2.4%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	37.5%	51.3%	8.7%	2.5%
スタッフの対応はいかがでしたか	52.7%	43.2%	2.7%	1.4%
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで意見を受付 ・イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施 ・みかも山公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り 				

主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2台あるシーソーのクッションタイヤが全て破損している。 ・ 貴重な高山植物も草刈りされている。花の勉強をしてほしい。 ・ わんぱく広場にベンチが少ない。伐採した木材を利用すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場確認後、修理済。 ・ 今後このような事がないよう指導する。 ・ ベンチについては2～3基増設済。ベンチ等に向けた木が伐採されることはほとんどなく、また、枯損木は再利用できない。
主な利用者意見（積極的評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜がきれいだった。登山コースも色々あり、無理なく楽しめていい。 ・ トイレがとてもきれい。 ・ 遊具がたくさんあってとても楽しかった。 	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSやホームページにカタクリなど花の開花情報を適時掲載し、内容を充実させた。 ・ コンソーシアムを組んで公園を管理していることで、枯損木処理や施設修繕、突発的に発生した倒木などの事案に対して迅速に対応することができた。 ・ 危険木の早期発見に努め、249本の危険木を処理することができた。 ・ 香楽亭と体験講座のチラシを作成し、県内外の公民館等へ送付し誘客に取組んだ。 ・ 香楽亭の体験講座参加者アンケートでご意見を参考に、次回の講座開催に向けて講師と改善の打合せを行い、内容の充実に取組んだ。 ・ ハーブフェスタ開催時に佐野プレミアムアウトレット・あしかがフラワーパーク利用者に対しソフトクリーム特別割引チラシを配布し新たな誘客に取組んだ。 ・ フラワートレイン料金改定や見どころポイントを記載した遠足プランを、幼稚園や小学校に送付し誘客に取組んだ。 ・ 施設や遊具の点検で確認された不具合の修繕に努め、事業計画以上の修繕を実施した。 ・ フラワートレインは致命的な故障を防ぐために、点検指摘事項の早期改善と計画修繕を行った結果、良好に運行することができた。 ・ 三毳庭園・万葉庭園・ハーブ園の景観維持と魅力向上を目標に、事業計画よりも多く除草や樹木剪定を実施した。 ・ ハーブ園ボランティアの育成、愛パーク組織化を行い良好な管理が行えた。 ・ 来園（登山）の思い出やお土産として、「三毳山の山バッチ」を製作・販売し好評を得た。 ・ 低山の特性を生かし「ビギナー向け登山教室」を開催し、新たな公園利用の契機となった。 ・ ハング・パラグライダー場のPRと利用促進を図るため、みかも山ハング・パラグライダークラブと「パラグライダー地上体験イベント」を開催し利用促進に取組んだ。 ・ 公園内の巡回や施設の日常点検を行い、危険箇所や不具合箇所の早期発見、安全管理に取組んだ。 ・ 枯松の多い三毳山の景観改善を図る為、地域住民とボランティア団体「みかも山の里山を守る会」を組織し、伐採処理や下草刈を行い里山再生に取組んだ。
公園の特性を生かした管理運営に向けた取組 ※指定管理者が独自に設定
<ul style="list-style-type: none"> ・ カタクリ・ニリンソウ・キツネノカミソリ・ヒガンバナなどの群生地は、みかも山公園の重要ポイントと捉え、年間計画を立て作業を実施した。 ・ カタクリの園では繁殖するキツネノカミソリの球根を抜根し、カタクリ群生地の環境保全を行った。大田和群生地ではキツネノカミソリを保護し、カタクリとの共生エリアとして管理を実施した。 ・ 絶滅危惧種アオトンボの生息が確認され、生息域の保全に配慮した草刈りを行った。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ カタクリの園では、近年、キツネノカミソリが増え始め、カタクリの育成を阻害しているのでキツネノカミソリの抜根に取組む。ボランティアに協力を働きかけ、一緒にカタクリ群生の保全に努める。 ・ 松くい虫による枯松が多いので巡回監視を行い、処理に取り組む。伐採したエリアの森の再生に取り組む。 ・ 三毳庭園、万葉庭園は、散策利用の他、写真撮影としても利用されていることから、定期的に樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観維持に努める。

<ul style="list-style-type: none"> ・作業事故防止のため、スタッフの安全教育を図ると共に、KY活動を実施し事故の防止に努める。 ・特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが園内で確認されたため、マニュアルに従い巡回監視を強化し拡散防止に努める。 ・愛パーク活動を推進するため、参加者に対し香楽亭利用の割引を行い活動推進に努める。 ・ハーブ園の除草等ボランティアが参加活動し易くなるよう環境づくりに努める。 ・施設照明のLED化を行い、経費節減、機器の長寿命化に取り組みたい。 ・愛パークボランティアへの参加団体を増やし、活動を推進するため、活動に参加した際に香楽亭で使用できる特別割引券を配付する。 ・ハーブ園の除草等手入れをするボランティアが活動しやすくなるように、愛パーク登録を行った。今後も参加しやすい環境づくりに取り組む。
--

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	適切に実施されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	所定の手続に則り、適正な許可が行われている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	障害者手帳の提示によりフラワートレインの利用料金を免除している。	C
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	事業計画書に沿って事業実施されており、その結果も適切に記録されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	利用者数については、台風・新型コロナウイルスによるイベント中止の影響を受け目標に到達しなかった。ボランティア団体と連携した不要木の伐採整理により、魅力ある眺望創出に取り組んだ。	C
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者数はH30より増加しているが、ご意見表の回収率が下がった。	C
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	わんぱく広場のベンチ増設など、利用者からの意見を取り入れ、適切な対応がなされている。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	計画どおり日常・定期点検を実施し、その記録が適切に保管されている。また、施設修繕とその記録状況も良好である。さらに、フラワートレイン等の適切な維持管理を実施している。	C
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	フラワートレインの料金値下げと併せ、チラシ作成により近隣県の誘客に努めた。	C
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	当該業務をおおむね適正に遂行できる組織となっている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	おおむね適正である。	C
	③経費の縮減に取り組まれてきたか	フラワートレインについて、スタッフ配置や運行スケジュールを見直し、効率的な運営が認められる。	C

	④人材育成は適切に実施されているか	事業計画に基づき適切に実施された。	C
	危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急時連絡体制が確立されており、事故報告等も適切になされている。	C
	⑥県や関係機関との連携体制は確保されているか	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	C
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護をしている。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用をしている。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	自己評価の改善が見られた。改善内容も評価できた。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	自主事業について、計画どおりに実施された。	C
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	近隣施設と連携したイベントの開催を行った。	C
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	公園利用者にはごみの持ち帰り運動の推進、夜間の街灯の使用を控えて光害対策を行った。	C
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	ボランティア団体「里山を守る会」を結成し、美しい眺望が望めるよう枯松除去、里山再整備を実施した。また、各エリアでのイベント等の開催、「愛パークとちぎ」のサポート・PRを行い、地域との連携推進に取り組んでいる。 新型コロナウイルスについては、来園者に対するマスク着用や手洗い・消毒の呼びかけを行い、三密防止や消毒の徹底に励んだ。	B
総合的な評価			
ご意見票の全ての質問において積極的評価が減少しており、改善に向けた取り組みを期待したいが、体験講座に新たな講座を取り入れ、外部の講師により利用者が今まで以上に興味を持つであろうメニューを増やしている点は評価できる。また、低山の特性を生かした「ビギナー向け登山教室」を開催するなど、みかも山公園ならではの取り組みを積極的に行っており、創意工夫がみられる。今後とも利用者の安全を確保するとともに、利用者の新たなニーズを開拓して欲しい。			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。